

防犯講座を開催しました

2021年12月15日(水)午後7時から、まちづくりセンター2階大会議室で「令和3年度防犯講座」を開催しました。



南草津駅前交番から高橋所長、志津交番から森下巡查部長を講師にお迎えし、「玉川学区の現状と防犯対策について」と題して、防犯と交通安全を中心にお話しいただきました。

地域で防犯や交通安全のパトロールをされている方を中心に24名の方が聞きに来られました。

県内・市内ともコロナ禍で外出が減っているためか刑法犯が前年に比べて減少しているものの、相変わらず自転車盗や車上狙いなどが起きているとの事です。

特殊詐欺では県内では11月末までに87件発生して被害額は1億2千万円以上になるそうです。被害は65歳以上が多く特に65歳～69歳が目立つとの事。インターネットのサイトの利用料の架空請求、ウイルス感染しているから対策するといってお金を要求、還付金詐欺、コロナで会えない家族の代わりのもが行くといってお金をだまし取るなどの手口が報告されているそうです。

銀行のATMで電話をかけながら機械を操作している高齢者を見たら、特殊詐欺にあっている可能性があるので、声を掛けることで防止できるケースがあるとの事でした。



犯罪が減っている一方、交通事故は増えており、大学生・高校生の自転車によるものが多いそうで、歩きスマホの歩行者に前方不注視の自転車がぶつかる、スピードを出しすぎて単独で転倒するなどの事故が起きているとの事でした。



最近見かけるようになった電動キックボードも話題に上りました。自転車も含めて、急に大きな声で注意したりすると、思わぬ事故になることがあるので、まずは警察にお知らせくださいとのお話でした。

質疑応答では何人もの方が発言されるなど、非常に有意義な講演会になりました。